

公式記録

令和2年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

準決勝 【 46 】



(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日 時	2020 年 11 月 3 日 (火) 13 : 10 キックオフ				会 場	アスパ五色 メイングラウンド			
天 候	晴れ 風 弱風 ピッチ (天然芝)・人工芝・クレー				状 態	良好 試合形式 80 分 / 延長 0 分 / PK戦 有			
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	田村 孝次		記 録	石塚 健二 / 芝切 淳		
主 審	金渕 佑亮		副審 1	竹内 章		副審 2	松木 大 第4の審判員		
チーム名	kick off 滝川第二高校				1	前半 0 O 後半 2 延前 延後 PK戦	2	チーム名 神戸弘陵学園高校	
交代	シユート				選 手 名 (学年)	番 号	位置	選 手 名 (学年)	シユート
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半				交代
分					林 憲太朗	3 年 1	GK	宮本 規央	3 年
分				1*	黒井 海舟	2 年 2	DF	木谷 亮太	3 年 1
分					永川 遼	3 年 3	DF	橋本 翔和	3 年
分					福田 隼士	3 年 4	DF	田中 百々輝	2 年 1
分			1		西村 柚希	3 年 5	DF	小倉 慶士	3 年
分				1	眞古 大輔	3 年 ⑥	MF	田中 魁人	3 年
49 分					萬谷 陸人	3 年 11	MF	松井 治輝	3 年 1
64 分					松本 祐満	3 年 10	MF	辻 夕雲希	3 年 1
分					藤田 仁朗	2 年 8	MF	松野 隼輝	3 年
80 分					岩澤 秀人	3 年 7	FW	徳弘 匠	3 年 1
54 分		1			相原 祐汰	2 年 9	FW	田中 祉同	2 年 1
分					阪本 圭裕	2 年 21	GK	大月 耀平	3 年
分					西口 鳩汰	3 年 13	DF	浅野 晴人	3 年
分					吉谷 尚也	3 年 14	DF	中島 大樹	3 年
7 分					田中 瑠亜夢	2 年 16	DF	吉村 瑠晟	2 年
11 分					モラッド ハジャティ貴哉	3 年 15	MF	川瀬 隼	3 年
10 分					井上 翼	3 年 17	MF	白山 麟	3 年
分					元津 潤哉	2 年 22	MF	西崎 千翔	3 年
分					寺田 健人	2 年 25	MF	牧野 隼也	3 年
9 分		1			島田 爽吾	2 年 20	FW	岩見 凉太	2 年
時 間	警・退 No.	氏 名	事 由	合 計	延後 延前	後半 前半	チーム合計	前半 後半 延前 延後	合 計 時 間 警・退 No. 氏 名 事 由
5 分	警 1	林 憲太朗	反ス	5		3 2	シユート	4 5	9 73 分 警 2 木谷 亮太 ラフ
32 分	警 10	松本 祐満	ラフ	7		3 4	G K	2 3	5 分
40+1 分	警 6	眞古 大輔	繰返	3		2 1	C K	2 3	5 分
分				8		4 4	直接FK	8 2	10 分
分				5		2 3	間接FK	0 0	0 分
分				0		0 0	PK	0 0	0 分

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時 間	チ ー ム	No.	得点者	スコア	【得点経過】	略号例: ドリブル~・ゴロのバス→・浮き球△・混戦×・ヘディングH・シユートS
	30 分	滝川第二	2	黒井	1 - 0	右 相手DF クリア ② ~ S	
	47 分	神戸弘陵	10	徳弘	1 - 1	中央 ⑦ ~ → ⑩ ~ S	
	80+4 分	神戸弘陵	10	徳弘	1 2	右 スローイン ⑭ △ 中央 × ⑩ S	
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		

戦評	戦評者 所属 【 西脇・川西緑台 】 氏名 【 鎌田・山下 】
	滝川第二1-4-4-2、神戸弘陵1-4-2-3-1の布陣で試合開始。緊張感の走る立ち上がりで、ボールが落ち着かない状況が続く。その中、あえてセンターバックにボールを持たせ、サイドでボール奪いにいく神戸弘陵が少しずつボールを支配し、⑥松井の細かなパスで⑦田中祉が左サイドを制圧し始める。しかし滝川第二も集中力を切らさず、②黒井が⑦田中祉とのマッチアップで対人プレーの強さを発揮し主導権を握らせない。また滝川第二は、⑧藤田の効果的な配球で神戸弘陵を押し返す展開となり、両者打開策を見出せないでいる。しかし30分に滝川第二の②黒井のクロスが風に乗り、そのままゴールに入り滝川第二が先制する。その後、神戸弘陵は反撃を試みるも、滝川第二の守備に阻まれ前半が終了する。後半、風下の滝川第二は⑩松本を中心に神戸弘陵ゴールに迫るシーンを作ったが、冷静に対応した神戸弘陵が、47分に⑦田中祉のスルーパスに抜け出した⑩徳弘が、落ち着いてゴールに流し込み同点に追いつく。一進一退の攻防が続く中、滝川第二は積極的な選手交代で試合のリズムを変えに行き神戸弘陵ゴールに迫るも、集中した守備に阻まれ決定機を作り切れない。このまま試合終了になるかと思われたアディショナルタイム、⑭松野のロングスローからのゴール前の混戦で、こぼれ球を⑩徳弘が豪快にゴールに突き刺し逆転。滝川第二②黒井の対人プレーの強さや攻撃参加、⑧藤田のパスセンスなど才能あふれる滝川第二の選手の成長と、神戸弘陵の決勝戦での活躍に期待する。

[備考] 新型コロナウイルス感染予防対策のため、無観客での試合開催